

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2016 年 6 月号 (第 95 号)

発行責任者 稲村 洋二



「所沢の自然と農業」花摘みボランティア活動 長野県りんご農家にて

ところざわ倶楽部
公開連続文芸講座

郷土が舞台の
軍記歴史物語

「太平記」6月29日より開催

事業部



毎年好評の「ところざわ倶楽部」連続文芸講座を6月29日より7月にかけて4回開催いたします。会員の方からすでに70名の申込みをいただいておりますが、告知の遅れもあって、一般の方からの応募は6月5日現在まだ少数で、今、受付中です。会員の方で参加希望される方は申込み下さい。

「太平記」は皆さんご承知と思いますが、戦乱の南北朝時代を描き、「平家物語」と並び称される中世最大の古典です。全40巻の膨大な作品ですが、時間に限りがありますので今回は後醍醐天皇の即位から鎌倉幕府北条氏の滅亡までの講義となります。

講師は平成13年度「奥の細道」の講義をお願いし

ました川上義正先生です。先生は長く高校で教鞭をとられ、最近でも山口公民館、吾妻公民館等で文学講座、古典講座を開催され人気を集めていました。小手指原、分倍河原、久米川、多摩川、鎌倉等、関東を舞台にした坂東武者の活躍ぶりを古典で学んでみませんか。

◆日程：6月～7月 全4回（毎週水曜日）

第1回：6月29日 第2回：7月6日

第3回：7月13日 第4回：7月27日

午後1時30分～3時30分（開場：1時00分）

会場：所沢市生涯学習推進センター 201 学習室

講師：川上 義正先生（元高校教師）所沢在住

募集人数：80名（先着順）

受講費：会員 1,000円 一般 1,500円

主催：ところざわ倶楽部 協力：葵の会

問い合わせ ☎04-2998-1958 二上拓夫

第5回文化祭 成功裡に終わる

事業部長 二上拓夫

第5回文化祭は素晴らしい天気となった6月8日(水)、11時から中央公民館で開催されました。展示部門は49点の作品と5サークルの紹介がありました。写真・絵画・書・面・工芸品・俳句・生け花等、来場者の目を楽しませてくれました。特に、手作り人形や着物地で作られた洋服は注目されていました。

舞台部門は、12時25分 稲村洋二会長の挨拶から、演目の開始です。

まずは、楽悠クラブのメンバーを中心とした混声コーラス。NHKドラマでおなじみの「365日の紙飛行機」「ふるさと」など。続いて民話の会の語り「河童の侘び証文」また、「むかしのところざわの風景」を、絵コンテで見せながらのお話でした。

ガラッと変わったシニア・ダンス、昨年に引き続き所沢シニア世代地域デビュー支援の会は学生とのコラボで、キラキラと輝くシニア世代のシニア・ダンス。若い女子大生に乗せられ、会場の皆さんも立ち上がり『GO!ダンス!』皆さん、楽しんでいました。ここで、前半の部終了。

35分間の休憩で ホワイエの展示会場へ足を運んでくれた方がほとんどでした。後半は、おなじみのとことこバンドからのスタートです。赤いアロハシャツに白パンツで花のレイを付けて、気分はハワイです。まずはそのハワイアン曲から、我ら世代の歌謡曲へと楽しませていただきました。

圧巻は「笑いヨガ」で軽妙な先生の語りかけに、会場の皆さんも恥ずかしさを忘れ、先生の話術の世界へ。笑うことは脳の活性化や健康寿命を延ばしたり、認知症防止に役立つといわれています。舞台と会場が一体化して「ワハハハ! ワハハ!」。続いて、ドラマチック・カンパニーによる朗読劇シェイクスピアの「ウインザーの陽気な女房たち」。日頃の練習を見事に披露しました。

最後は例年通り、懐かしの映画・鑑賞会の太鼓と踊りで締めくくりです。

今年の踊りに選んだのが「同級会音頭」昔懐かしき友と久しぶりに会った喜びをうたった歌詞でした。会場の皆さんにも思い当たるものではなかったのでしょうか。軽快な踊り、踊っている本人たちが一番楽しんだようです。

フィナーレの踊りは、炭坑節と所沢音頭で会場の参加者も大きな輪となり踊っていただきました。

これをもって文化祭は無事に終了しました。おいでいただいた方々、参加されたサークル、出展された皆さん並びに運営に当たられた皆さんには大変感謝しております。

また今回、熊本震災の義援金募金箱を設置させていただきました。来場された皆様の心からの寄付金14,396円は、所沢市の日本赤十字社へ納めさせていただきます。ご協力有難うございました。

5月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

5月9日(月)第6回開催

1. 会長挨拶

あり方検討委員会の中間報告

市民大学懇談会で会費二重払いの誤解を解消し、市民大学生へはサークル活動を直接見ていただくか、チラシを配布して参加を呼びかける

2. 総務部案件

1) 10周年記念委員会の進捗報告

来期10周年記念イベントを行いたい

2) 細則変更に伴う運用規定の一部変更案

サークル会員6名未満の活動補助費は1名当たり500円に改定する旨を全理事賛成で決議した

3. 事業部案件

1) 6月8日(水)文化祭開催(中央公民館)
午前11時開場 展示物:50点位

午後12時25分開演 7つの演目上演

前日準備 午後3時集合 当日午前9時集合

2) 文芸講座(古典文学『太平記』4回連続)

申込:会員5月25日迄、一般6月より

4. 広報部案件

1) 広場5月号の発行報告とサークル活動計画の一部訂正確認 6月号編成案説明、協力依頼

2) HPの活用と4月9日広報委員会報告

3) HP上の広場が開かない場合、閲覧ソフトを「グーグル「クローム」」などへ変更すると閲覧可能

写真で見る文化祭

広報部

第5回文化祭は、舞台演目7点、展示品9部門、サークル活動紹介パネル等、昨年同様に、充実した内容で開催されました。何点かご紹介致します。

(ところざわ倶楽部HPにて、舞台・展示部門の写真をご紹介しております)

(敬称略)



文化祭看板 曾部康子



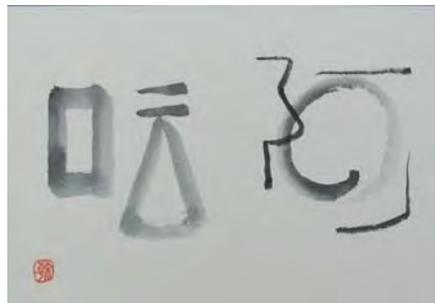
開会挨拶 稲村洋二会長



生け花・安田好子



工芸品・多胡國男



書・中原幹男



手芸・懐かしの映画鑑賞会



開場の皆さんと一緒に遊びました



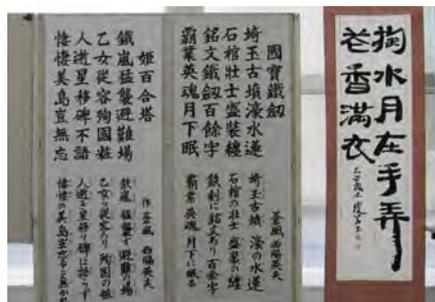
笑いヨガ・みんなで学ぼう認知症



手芸・富田敬子



生け花・吉田 麗



書・西脇英夫 曾部康子



陶芸絵付け・方山みどり



ドラマティック・カンパニー



和太鼓・踊り



展示品鑑賞の皆様

市民大学企画委員との懇談会報告

1. 概要

今年も、ところざわ倶楽部から会長、副会長ら4名が参加して、市民大学2年次23期生の企画委員会とOB三団体(さんさん会、OB会、ところざわ倶楽部)との懇談会が5月12日(木)午後約2時間、生涯学習推進センターで開催されました。



事前に23期企画委員会から、市民大学修了生が終了後も生涯学習を続けるとともに、修了生同士と、さらに交流と親睦を図り、さ

やかな地域の社会貢献に寄与できれば、との趣旨での懇談会開催のご連絡、後日に懇談会に関わる詳細な内容の質問状をいただきました。例年にも増して、お互いを理解する良き機会となったと思います。ところざわ倶楽部から、感謝申し上げます。

2. 企画委員会から事前に以下の質問がありました。

- ①OB三団体の目的や活動などに大きな差はなく、大同小異だ。三団体に分れた経緯を知りたい。
- ②OB三団体は、市民大学の理念を継承している。その中で”地域社会に貢献”とあるが、各団体のアピールポイントは、どんなことでしょうか？
- ③超高齢社会を迎えて、取り組むべき課題はどんなことが考えられるのでしょうか？
- ④所属する会員の行政区毎の会員マップは作成可能ですか？
- ⑤各団体の年会費は2,000円と共通です。ところが、受講生の中では、あっちが高い、こっちが安いと憶測が飛び交う。受講生に向けて、年会費の使用報告と他に負担する実費の説明を求めます。
- ⑥最後に、OB三団体が協議して、年1回の協働イベントを計画実行できないか？

3. ところざわ倶楽部の回答及び説明



①ところざわ倶楽部は、市民大学が2年制になった14期に新設された。

さんさん会やOB会では、人数が多すぎ

て受け入れできないとの理由だった。

当時、特に14期、15期は、2年次の各講座がほ

総務部長 石堂 智士

ぼサークルを新設したので、ところざわ倶楽部はサークル中心の会になった。現在、19サークルが、生涯学習の継続や親睦のため、活動している。三団体の規約を読む限りでは大同小異だが活動内容は異なる。

②ところざわ倶楽部があり、元気な会員が多数参加されていることが、地域社会のコミュニティ活動に役立っている。6月8日開催の文化祭には、市民大学生にも来てもらいたい。文化祭開催や公開講演会なども地域貢献している。例えば「民話の会」は小学校を訪問し、歓迎されている。「所沢の自然と農業」は、東京農工大学と連携して、市民大学ファームを運営している。「傍聴席」は、大手メディアが報道しない市政を伝える活動を行っている。「アジア研究会」は、アジア人の交流イベントを行っている。「地域の自然を考える会」は、トトロの森や地域の自然を保全するボランティア活動を行っている。「懐かしの映画・鑑賞会」は、一般市民30人が月2回の名画の上映を楽しみにされている。質問の③と④は、現在、あり方検討委員会を通し、検討中の課題です。

4. 質疑応答など

①ところざわ倶楽部は、22期生の中で、「会費二重取り」のうわさが広まり、誤解を受けた。受講生に誤解をあたえるようなことがないようにしてもらいたい。

(23期企画委員会)前年の事なのでよくわからないが、現役生でも生々しい話が出る。ところざわ倶楽部だけ



悪いうわさがあるわけではない。他の団体の悪口もある。自分で良く確かめて選ぶようにサポートしている。

(23期企画委員会)OB三団体にお願いがある。卒業後は、自分が好きな団体を選ぶことが大切だ。ある団体を訪問したあと、他の団体へ行こうとした時、行く必要はないと言われた。他の団体に入る人を邪魔したり、悪く言うようなことはやめてもらいたい。

②OB三団体は、いずれも特徴を生かして、競争しながら大きく成長してきた。卒業生にとっても、多様な選択肢があることが良いことと思います。

5. 今後の予定

23期市民大学生へのOB三団体の説明会は、7月中旬予定です。

「私にとっての昭和」
第6回

井戸と水がめの時代

歴史散策クラブ 当麻 実

上水道がくる前の水問題

いまスーパーやコンビニでいろいろな「ペットボトルの水」が売られている。一昔前、私には水を買うなんて考えられなかった。昔と違い生活スタイルが大きく様変わりしてしまった。

所沢はその昔、水に苦労したという。江戸時代、「カヤで体を拭いた」「火事は土で消す」「かわいい娘は所沢に嫁にやるな」といわれたという。また西所沢には弘法大師の「三ツ井戸」伝説もある。こう聞くと、よそから所沢に移り住んだ人は、所沢全域が「水に乏しかった」と思うかもしれない。

狭山丘陵と柳瀬川に面した山口のわが家(実家)の「水問題」は逆であった。いまは水道の蛇口をひねれば瞬時に水が手に入る。上水道が山口地区に入ったのは昭和 37 年頃であった。それ以前は井戸から水をくみあげた。わが家の井戸は母屋の東側にあった。井戸は浅く水はすぐわく、三富のように深く掘る必要はなかった。そして手押しポンプに呼び水をいれてくみあげた。

ろ過した水を水がめに

ところがカナケ(鉄分)が多く、そのまま飲めなかった。そのため井戸からくみあげた水は、まず井戸の脇にあるコンクリートの土管(小石、砂、シュロがつめてある)に入れて、途中の筒から「ろ過」された水を確保する。時間はかかるが、バケツに一杯になると台所の大きな水がめに運んだ。

水がめの隣には流し台がある。水がめの水は「ひしゃく」ですくい、飲み水や食器洗いに使う。蛇口をひねるとすぐ飲める水とは違う。手間ひまかけた貴重な水なのでむだにはできない。昭和 30 年代まで土間の「へっつい(かまど)」で煮炊きをしていた。マッチで



新聞紙に火をつけ、小枝をいれて、マキをくべて煮炊きをする。マキは山(雑木林)から切ってきたコナラなどを使った。もちろんマ

キ割りも手伝った。

お風呂の水はどうか。井戸からくんだ水はバケツで何回も木製の風呂桶に入れる。これも子どもの仕事だ。

沸かす前の水は澄んできれいな水に見える。しかし、古紙に火をつけ、マキで沸かすと、鉄分のため茶色になってしまう。私は子ども心に茶色ではなく、きれいなお風呂に入りたいと、ある豪雨の時、とくにバケツをおき、ためては風呂桶に入れたことがある。大家族のため風呂桶の水もそれぞれ神経を使った時代であった。

この井戸は戦後掘られたものだ。それ以前の井戸はどうであったか。『所沢市史・民俗』(第8章)にわが家の母屋と付属施設が紹介されている。「井戸は、はじめは母屋の裏手をあがったところに掘られていた。

この井戸は浅いので、水をくむにも、竹の先に桶をつけたものでくみあげることができ、雨が降った日には、井戸の水面と地面とが同じになることがあった。しかし、水質は悪くカナケ(鉄分)が多かった。そこで、戦後母屋の東側に掘り直した」とある。延宝時代(元禄前)から同じ地なので水脈に苦労したに違いない。



忘れがちな水のありがたさ

私が大学生の頃、やっと山口地区に待望の上水道がひかれた。台所の水がめに水を運ぶ必要もなく、風呂桶にバケツで何回も水を入れることもなくなった。家族にとって、これは生活革命ともいえるできごとだった。やっと水がめの時代が終わった。またちゃぶ台、かまどなど昭和の生活道具が消えてしまった。

しかし、時がたつにつれて「水のありがたさ」を忘れてしまう。人は便利さに埋没して、蛇口からひねる水をジャブジャブ使いがちだ。海外を旅すると水はそのまま飲めない国が多い。アジアやアフリカの子どもたちは水を求めて、何キロも歩いて水源地去る。その水は茶色く濁った水で、下痢性の病気を引き起こしている。いまだ7億人以上の人が水道も井戸も十分利用できていないという。

半世紀前のわが家の水事情もカナケに苦労した。井戸と水がめの時代はなくなったが、いま所沢市民の水は、9割が県営水道の水(利根川・荒川水系)に頼っている。人は水なしでは生きられない。私は水を使う時、ふっと水がめの時代を思い出す。

「出会い」シリーズ第13回

偶然の出会いが今の自分を！

岡本詔一郎

オカリナが取りもった縁

8年ほど前、チャリンコで車に跳ねられ、自転車に乗ったままの状態で行政道路の真ん中に！何年かして、今度は自分が家の近くのよそ様の塀に車をブツケ大破、私は幸いエアバックが開き、何とか生き延びられた。もうこれが潮時と車を廃車し、もっぱらどこに行くにも自転車！自転車だと気軽に行きたいところに行け、いろんな方と道で出会えるのも楽しい。～自転車は偶然が一杯～



私が生きているのも偶然！事故があったから助かった。

6年ほど前、シルバー人材センターの仕事で西武園ゴルフ場のバイトをしていた時のこと、正月明けの初日の

勤務でゴルフ場の詰め所に控えていたら、「岡本さん今日は私よ！」と言われ、「え！」と二の句が継げなかった。しかし、バイトの身で私も勤務しますとは言えず、しぶしぶチャリンコで帰ることにした。仕事はゴルフ場がオープンする前のバンカー均し、早朝6時半出勤なので、6時半ごろ家に帰っても女房殿に笑われるだけ！さて、どこに行こうか？ そうだ荒幡富士のてっぺんでオカリナを吹くと気持ちがいいぞ！と思い、新年の冷え切った早朝ろうろうと吹き捲った。するとハイキングのメンバーか？ 数人登ってくる様子が見えた。演奏を止めてオカリナの話をしていたら「良い音色ですね！私もオカリナを持っています。しかし、ダンスの中にしまえばなしです」とのこと。すかさず、「オカリナ始めませんか？」と持ち掛けた。ご夫婦揃って「お願いします」と・・・いろいろお話した後、このお二人が自分の作った所沢オカリナ同好会を背負ってくれそうで、「お二人がオカリナ同好会を将来きっと背負ってくれるに違いない」と言った気がする。

オカリナ同好会開始

自分は陶芸をやっていたこともあり、オカリナを作りたい！と思っていたところに女房殿から「オカリナの体験教室があるよ」と言われ・・・教室は私一人だったので開かれなかった。しかし、音痴でリズム感のない私でも吹けそうだ！という気持ちを起こさせてくれた若い女の先生との出会いに感謝している。私はすぐ、小躍りし

てヤマハへ・・・良い教本にも出会え、吹き捲った。吹きだして2か月ほどして、女房に「オカリナ教室を開く！」と言ったら馬鹿にされ・・・昔の中央公民館の4号室でオカリナ同好会の産声を上げ、今年で11年目！私が偶然出会った方ばかりを勧誘し、同好会入会者は毎年25名ほど、入会名簿上は120名、約半分の方が止め、70名がピークだった。実は私は7年目の4年前女房から「あなた、いい加減にしたら、オカリナばかりやって！会長を辞めたら！」と言われ、完全に手を引き、毎年の記念演奏会に聴かせていただくだけの身になった。

その会が今年までやって来られたのは、荒幡富士で出会ったMさんのお陰である。止める時に一対一で事情を話し、その後、会を纏めてくれ、今年まで3年間会長も務め、私では限界があったことを見事に成し遂げてくれ、私の当初の夢「所沢の町オカリナ、オカリナの町所沢」を実現してくれた。現在の会員数57名、私が止めた以降新入会者は受け入れてない。



新年初仕事の日を間違えず、私がMさんと出会ってなかったら、オカリナ同好会は今頃一体どうなっていたらだろうか？ Mさんや皆さんとの出会いに感謝。偶然の力に感謝！私はMさんとは今も「メークオカリナ」の仲間としてオカリナ作りやミニ演奏会を楽しんでいる。

ミスをするとうまいことがある

今回、駄文を書く羽目になったのも、実は日にち間違えから！市のカルチャーパークの芝の練習場に行ったら、グランドゴルフの仲間は誰も来ていない、3日前に変更になり終わっていた。それで、帰りに道草をいろいろして中央公民館に行ったところ、「広場」編集会議後一休みしていた池田さんと島川さんに出会い、「ミスをするとうまいことをしないうちよりも、ずうっとうまいことが一杯ある」と話をしたら「その話記事になる」と踊らされ・・・

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？(五十音順)

1. 葵の会 (池田新八郎 2940-0711)

6月23日(木) 能楽鑑賞会 国立能楽堂
6月29日(水) ところざわ倶楽部「文芸講座 太平記」
協力サークルとして参加

※7月は文芸講座参加を主とし、定例会は中止します。

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

6月15日(水)9:30～ スパイス料理講習会・試食会
男女共同参画推進センターふらっと2F 調理室
7月27日(水)13:30～ 定例会 中央公民館 8・9号室

3. 活いきシニア福祉の会(佐藤 重松 090-5412-5760)

6月22日(水)9:30～生涯学習推進センター2F
第19回定例会(学習会の総括)と地域包括ケアシステムの件

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要)

6月14日(火)13:15～ 歌劇「ローエン格林」(ワーグナー)
出演:ドミンゴ、他 指揮:アバド、ウーンフィル
7月12日(火)13:15～ 歌劇「ファルスタッフ」(ヴェルディ)
(場)いずれも 中央公民館 # 8,9学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (吉田 麗 2939-9662)

6月7日(火)10:00～12:00 定例会 ふらっと
「地産地消料理コンテスト出品料理作り」
7月5日(火) 9:30～12:00 定例会 ふらっと
「地産地消料理コンテスト出品料理作り」
7月20日のコンテスト締め切りにむけての資料作り

6. 地域の自然を考える会 (海老澤愛之助 2922-0259)

6月28日(火)10:00～ 定例会ト口12号地手入れ作業
ト口財団の取得地の管理を定期的に行っています。
環境保全に関心を持っている方、参加をお待ち致します。
単発の参加で結構です。 ご連絡は海老澤まで

7. 地球環境に学ぶ (塚本 二郎 2942-3117)

6月21日(火)9:00～ 定例会 新所沢東公民館
早稲田大学本庄キャンパス蓄電システム&本庄市エコタ
ウン見学会(6/11)の報告、他
7月19日(火)9:00～定例会 新所沢東公民館

8. ところ会 (居田 治 2903-8400)

6月17日(金): 所沢を散策する:
新所沢～入曽の鎌倉街道上道とその周辺
7月1日(金): 浅草～水上バス～浜離宮、築地
8月25日(木): 旧町見学、講演会、食事会

9. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

6月14日(火)9:30～11:00 定例会 中央公民館1階学習室
議題 ①「シニア世代なんでも塾」開講に向けた内容検討
②「シニアセカンドライフ講座一覧」の活用検討
★本会に関心のある方の定例会参加大歓迎

10. 所沢の自然と農業 (清水 仁一 2944-8835)

6月下旬 飯能高麗神社散策
7月 7日(木) 12:00～市民大学ファーム「夏の収穫祭」
7月14日(木) 13:00～ 定例会 新所沢公民館

11. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大山 豊 2993-0818)

6月16日(木) 富士塚巡り
7月 7日(木) 般若心経を読み解く

12. ドラマティック・カンパニー (佐藤 滋 090-1540-0161)

6月21日(火)10:00～12:00 新所沢公民館
7月 9日(土)10:00～12:00 中央公民館「夏の夜の夢」を
読み進めます。シェイクスピアを楽しく深く学べます。

13. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

6月14日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
■時代劇「濡れた髪三度笠」'59年(34年) 市川雷蔵
6月28日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館
■邦画「若い人たち」'54年(29年) 音羽信子・木村美津子

14. 北欧の会 (樋口 俊夫 090-6483-7993)

6月28日(火)14:00～16:00 頃
第69回例会 DVD 鑑賞他 新所沢東公民館

15. 傍聴席 (高垣 輝雄 2926-7164)

6月20日(月)学習会、14時～新所沢東公民館
会員講師による講話: 戦時下の全国安全週間実施要綱より
見えるもの & 資料を残す大切さ、市の歴史資料や公文書
の保存の話など(詳細は倶楽部のHPをご覧ください)

16. みんなで学ぼう認知症 (本橋 清子 2944-1555)

6月27日(月) 13:30～16:00
定例会 生涯学習推進センター 101号
「認知症所沢家族の会」代表・森本剛 氏による講座
—認知症患者の心理と介護する立場になっての心理—

17. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

6月17日(金) 文化祭反省会、「とんぼの宿り木」読合せ
中央公民館 学習室1号 10時～12時30分
7月15日(金) 昼食会と今後の計画検討

18. 歴史散策クラブ (大河原 功 2943-2004)

6月11日(土)(雨天の場合12日) 野川の遺跡を歩く
集合: 所沢駅 2階 9:00
7月の行事は検討中、別途お知らせします。
予定の全体会議は中止です。



【私の健康法 第36回】

健康は心身の
バランスから

葵の会 杉本哲雄

毎日が日曜日の境遇になりグズグズと過ごすうちだいに腹が出てデブになった。59歳で痛脚?から身を引いた事から昔からの暴飲暴食のツケが顔を出したのだ。糖尿病と医者に宣告され、メタボ解消を目標に少しは身体を動かそうと一念発起。先人並みに歩き始めたが本気度が薄いから当然効果は無い。生来の飽きっぽさが立ちほだかるのだ。しかし本気にならないとイカン状況となった。数年も日曜日を決め込んでいたから、目の前がグレーで見えない極めて危険な状態となり、運転もままならない。まずいと検査したら重度の白内障で最終段階であると脅かされた。永年酒を欠かさない飲兵衛が、ついにアカン兵衛となったのである。先生との対面指導を1年間受けて人並みに近い状態にこぎつけ、やっと両目の手術をした。天の岩戸ではないが明るさが戻ったのである。はっきり見えて前の人がどなた…?失礼。問題は13キロも減量した身体をどう維持していけばいいかだ。どうする大丈夫か! 哲ちゃん。そんな中、前頭葉から歩け、筋トレ、体操だ、との声。以来何と約10年も愚直に続けているのは奇跡だ。並行して多趣味であるが特に3~4つを実践している。仲間との創意工夫、成果と反省検討、融和親睦、趣味は上手い下手ではなく自身が楽しむ心が必須だ。朝の炊事片付けと掃除、地域防犯推進委員もその一環である。無理せず明日の活力を回復するため早寝早起きして、心身のバランスを心がけ今日一日を楽しむ事が自己流健康法です。



むさし野俳句会 (二十八年五月) 作品抄



輪舞する白き折鶴えいの花	高光 泉	武田菱掲ぐ毘沙門幟かな	海老澤愛之助
湧水の木陰にほのと著我明り	利根川啓一	麦秋や畑に入り来る郵便夫	粕谷のぼる
江戸人になりきりて食ぶ初鯉	中嶋 弘子	花は葉に風さはさはと吹くばかり	河瀬 俊彦
食べたたくて食べさせたくて初鯉	中村 直子	とくとくと徳利響かせ初鯉	小林 貞夫
母の日や易者じみたる拡大鏡	橋本 佑子	桜の実空の光をまとひけり	小林 典子
袖口の煙草の焦げや父のセル	平栗 彰子	高麗郷の若き宮司や更衣	佐藤 八郎
弾け飛ぶ一本釣や初鯉	宮本 信生	寅さんに帰る家あり夏つばめ	白神 恵子
初鯉厚く切られて盛られけり	荒幡千鶴子	深山下りしやがの花咲く茶屋の庭	高梨 千代
「初鯉」二字で済みけり日記書く	飯泉 陽子	顔振の山はすぐそこ著我の花	高橋三加子
魚屋の声に絆(ほど)さる初鯉	井出 昇	花桐や眉のやうなる昼の月	鈴木 征子

《編集後記》

2日前に文化祭が終了して、直ぐに6月号が発行されました。表紙の写真が文化祭でなくサークル活動に変わっています。イメチェンですが如何でしょうか? 読者のみなさん感想をお寄せ下さい。次号の広場の編成案を、発行日の1週間後の理事会でお知らせしていますが、大部分の会員、読者は発行されて初めて知るわけです。編集作業は文面、誤字脱字、イラスト、写真を隅々までチェックしていますが、気が付かずにご迷惑をかけた事もあります。今月号は短時間で取材撮影、また原稿執筆の方々のご協力により滞りなく発行できました。ありがとうございます。私事です数年前に、原稿依頼された時、発行された文面を見て字数が30字ぐらいいカットされていました。依頼された方に連絡しましたが「枠が決まっている」の一言でした。「それはないでしょう」。だが編集員の人も多忙だろうから、それにて打ち止め。執筆者と読者と編集員が一体となり12月の100号を、更に良い広報紙にしていきたいと思います。(長岡)

「広場」問い合わせ 仲山 富夫 (090-3902-0283)

川柳⑩

課題「スツキリ」

作品発表

中島峯生 選

スツキリとしたいんだけど睨む妻	丘の河童
スツキリと整理整頓人の情	海さとする
すつきりとサプリメントで体脂肪	どうし
マスクとれスツキリ顔に惚れ直し	老眼鏡
スツキリと身辺整理誤解うみ	几帳面
夏の汗シャワーを浴びて飲むビール	方声
「自由句」	
たまにはよ喰わせてくれよ妻の飯	丘の河童
古風だね言った貴方は昔人	海さとする
口だけは達者な母も杖たよる	どうし
賢くも防ぐテロには島を出る	賢島住民
真夏日は真夏のような暑さいい	気象庁
頂上は山彦でるかともまず叫ぶ	方声

次回 課題「学校」又「自由題」 6月20日締切
担当中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161